

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学医療人育成・支援センターでは、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020年12月 福島県立医科大学医療人育成・支援センター 大谷晃司

【研究課題名】

患者のジェンダー・ステレオタイプの認識が医師のコミュニケーション評価に与える影響

【研究期間】

2020年12月（承認後）～2023年3月

【研究の意義・目的】

医師のコミュニケーション能力は、診療を進めるうえで重要な能力のひとつです。男女の医師でコミュニケーションの行動パターンが異なることがわかっており、一般に女性医師の方が一般的に望ましいとされるコミュニケーション行動をとる傾向があるとされています。一方で、患者の満足度は必ずしも女性医師に対して高いというわけではありません。これには患者が持つジェンダー・ステレオタイプ（男女の性格や行動の特徴などに対して多くの人が共通して持つ思い込み）が影響していると考えられています。この点について十分な研究がなされていません。

本研究では、個人のジェンダー・ステレオタイプの強さが医師のコミュニケーションに対する評価（満足度）に影響するかどうかを調べます。

研究成果を医学生・医師への教育に活用することで、ジェンダー・ステレオタイプの影響を意識した円滑な患者-医師関係の構築が促され、患者の健康状態にも良好な結果をもたらすことが期待されます。

【研究の対象となる方】

研究対象者は医療従事者・医療系学生を除く20～69歳の男女です

【研究の方法】

インターネットリサーチ会社を介して匿名のアンケートを実施します。

アンケートでは、研究対象者に医師の診療場面の動画を見ていただいた後に以下①～③の情報を得ます。研究者が研究対象者の個人情報を取得することはありません。

- ① 動画の医師に対する満足度
- ② 男性性・女性性・人間性に対する価値観
- ③ 研究対象者の属性（性別、年齢、職業、婚姻状況、子供の有無、学歴）

アンケート結果は、集計・統計解析をしたのちに学術集会や学術雑誌において公表します。

【研究組織】

（所属）本学医療人育成・支援センター	（職）教授	（氏名）大谷 晃司
（所属）本学医療人育成・支援センター	（職）助教	（氏名）日高 亜紀子
（所属）本学医療人育成・支援センター	（職）助手	（氏名）諸井 陽子
（所属）福島学院大学	（職）特任教授	（氏名）石川 和信

【他の機関等への試料等の提供について】

研究で得た情報を他の機関等へ提供することはありません。

【情報の利用を望まれない場合のご注意】

本研究のアンケートは匿名で実施しますので、研究対象者の方の個人情報を利用することはなく、漏えい等の危険性もありません。しかしながら、アンケートの回答を送信した後に情報の利用の停止を求めても、研究対象者から除外（利用停止を求めた方の回答情報を特定して削除）することができません。

本書をご覧いただいた上で、情報の利用を拒否したいと思われた場合は、回答を送信する前に中止するようお願いします。回答完了によって得られる利益（インターネットリサーチ会社からのポイント付与等の謝礼）は得られませんが、その他、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医療人育成・支援センター 担当:日高 亜紀子

電話:024-547-1908 FAX:024-547-1986

E-mail: sugawara@fmu.ac.jp